

サマリ :

本仕様書は oneM2M 管理要件を満たすために必要な BBF TR-069 プロトコルおよび対応したメッセージフローの用法（正常なケースだけでなくエラーケースを含む）を規定している。

- ・ oneM2M サービスレイヤーと BBF TR-069 プロトコルの間でのプロトコルマッピング。Mca 参照点、ms インタフェース、および la インタフェースは、このプロトコルマッピングに関する可能性がある。
- ・ oneM2M 管理関連リソースと、TR-069 プロトコル RPCs 及び TR-181i2 データモデルの間でのマッピング。
- ・ 現在マッピングできない oneM2M 特有の管理要件を満たすための新しい TR-181 データモデル要素の仕様。

目次 :

1 章 所掌範囲（目的）

この文書は、oneM2M の管理リソースと、BBF TR-181i2 データモデルの間でのプロトコルマッピングについて記述している。

2 章 引用文献

3 章 定義、略語と頭字語

4 章 表記法

5 章 基本データタイプのマッピング

本章は oneM2M で規定したデータ型属性の、BBF TR-106 で規定するデータ型へのマッピングについて記述している。

6 章 ID のマッピング

本章は BBF TR-069 で定義された三つのデバイス型（CPE、Virtual、Embedded）の ID 及びオブジェクトインスタンス ID の説明と、これら ID の、oneM2M で規定したリソース ID へのマッピングについて記述している。

7 章 リソースのマッピング

本章は oneM2M TS-0004 仕様書における管理リソースの、BBF TR-181 データモデルで定義された管理オブジェクトとパラメータへのマッピング方法、または BBF TR-069 の Remote Procedure Call(RPC)へのマッピング方法に関する全ての情報を含んでいる。

8 章 管理手順のマッピング

本章は oneM2M TS-0004 仕様書における管理リソースプリミティブの、BBF TR-069 の RPC へのマッピング方法に関する全ての情報を含んでいる。BBF の Fault Code と oneM2M の Response Status Code の対応も含む。

9 章 サーバー間の相互連携

本章はこの仕様書に記述されたリソースを管理するために、IN-CSE(Infrastructure Node の Common Services Entity)と ACS (Auto-Configuration Server) との連携方法を明確化している。IN-CSE と ACS との連携には、両者間の通信セッションの確立、リクエストと通知処理、ディスカバリが含まれる。

10章 新しい管理技術特有のリソース

本章では、BBF TR-181 データモデルに対する oneM2M 特有の拡張仕様 ts-0006-1-1-0.xml を提供している。

Summary:

Specifies the usage of the BBF TR-069 protocol and the corresponding message flows including normal cases as well as error cases to fulfil the oneM2M management requirements.

Protocol mapping between the oneM2M service layer and BBF TR-069 protocol. The Mca reference point, ms interface and la interface are possibly involved in this protocol mapping.

Mapping between the oneM2M management related resources and the TR-069 protocol RPCs and TR-181i2 data model.

Specification of new TR-181 data model elements to fulfil oneM2M specific management requirements that cannot be currently translated.